

グループ討議 課題

テーマ:学内の連携について

グループ名 [ 4B ]

---

2018年度機関リポジトリ新任担当者研修

JPCOAR オープンアクセスリポジトリ推進協会





図書館

- ・リポジトリの周知をしたい
- ・人員の余裕がない
- ・先生や事務方の協力が欲しい



- ・リポジトリって何？
- ・論文はオープンアクセスにしてる
- ・これ以上仕事は増やさないでくれるとありがたい

教員

☆方針  
☆連携の場  
が必要！？



- ・図書館って何やってるの？
- ・先生との結びつきは強いと自負してる
- ・予算厳しいから成果は公開はしてほしいなあ。(評価上がるし)

事務(ex.研究推進)

## 連携しての課題解決法

連携を円滑にするため、  
**図書館・事務方・教員各部署**  
の代表者で構成する委員会を作る【仮名称:情報部委員会】  
定期的に行き、情報を共有する

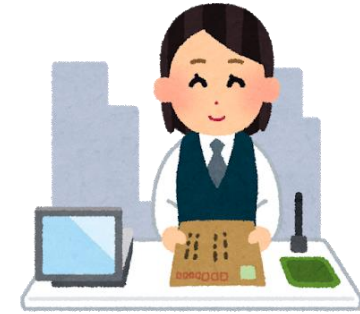


## 図書館

- ・リポジトリの周知をしたい  
→ポスターや学内共有の掲示板に配信、マスコットの作成
- ・人員の余裕がない  
→日常業務の中でもできるように作業をルーティーン化する
- ・先生や事務方の協力が欲しい  
→情報部委員会で議題にあげ、協力を募る

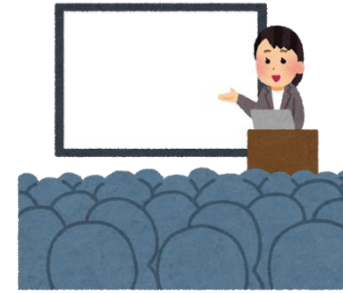


## 事務(ex.研究推進)



- ・図書館って何やってるの？  
→事務方用に説明会やチラシで周知
- ・先生との結びつきは強いと自負してる  
→リポジトリで公開することの利点をまず事務方に理解してもらい、  
大学図書館＋事務方の双方の意見で先生方に広報
- ・予算厳しいから成果は公開はしてほしいなあ(評価上がるし)  
→これは図書館側が言うより事務方から先生方に伝えたほうが  
説得力がある

## 教員



- ・リポジトリって何？
  - 説明会を開く。教授会のタイミングで数分時間を頂き  
こんなことやってますとアピール。図書館内や学内にポスターの掲示
- ・論文はオープンアクセスにしてる
  - 所属する機関で公開することで周知度がより高まることを説明
- ・これ以上仕事は増やさないでくれるとありがたい
  - 公開する際に必要な書類や手続きなどは必要な作業はこれだけですと、  
プリント・説明会などで簡潔に説明



# リポジトリの普及のために必要なこと

大学としての方針の決定



大学内の運用方法の確立  
(関係各部署の業務分担決定)



教員への働きかけ・学内周知



この段階の  
準備が  
重要！！

学内連携の  
実現